

TTC提案山行実施記録表

2012年8月11日

佐々木嘉美

山行名	加賀白山(百名山) [2702m/石川県・岐阜県]		
実施月日	平成 24年 8月 4日(土)夜~7日(火)朝		往復夜行バス利用1泊2日 交通手段:公共
天候/参加人員	天候:晴/晴時々雨 レベル:★★		参加人員(申込:15名、参加:12名)
パーティスタッフ	CL: SL: 救護: 会計/計画: スタッフ名削除		
参加メンバ	氏名削除 男6名/女6名		
費用 29,000円 TTC積立金 4,280円	収入:@29,000×12人=348,000円 支出:深夜特急バス(横浜~金沢)@14,110(往復)×12人=169,320円 白山登山クーポン(路線バス、室堂宿泊券)@10,600円×12人=127,200円 打ち上げ夕食代、@3,000円×12=36,000円、ビール、烏龍茶他=9,200円、 ガスボンベ@500円×2=1,000円、通信費=1,000円、支出合計=343,720円、 348,000-343,720=4,280円、(残金4,280円はTTCカンパ金)		
実行コースタイム	8/4(夜) 8/5(日) 0.50 0.50 0.55 横浜駅西口=== 金沢駅東口 === 別当出合 ----- 中飯場 ----- 休憩 ----- 片飯場跡地 22:45 7:10 7:30 9:35 10:00 10:50 11:00 11:50 12:00 12:55(昼食)13:25 0.05 0.25 0.55 0.05 0.40 ----- 甚之助避難小屋 ----- 南竜分岐 ----- 延命水 ----- 黒ボコ岩 ----- 室堂小屋(泊) 13:30 13:40 14:05 14:15 15:10 15:15 15:20 15:25 16:05 8/6(月) 0.55 0.20 1.10 0.20 0.35 室堂小屋 ----- 御前峰 ----- 油ヶ池 ----- 室堂 ----- 黒ボコ岩 ----- 3:55 4:50 5:35 5:55(朝食)6:15 7:25 7:45 8:05 8:15 0.35 0.45 1.05 0.30 0.20 馬のたて髪 ----- 殿が池避難小屋 ----- 大岩 ----- 別当坂分岐 ----- 休憩 --- 8:50 9:20 9:35 10:20 10:30 11:35 12:05 12:10 0.20 別当出合1km手前 ----- 別当出合 ===== 金沢駅 ----- アパホテル===== 金沢駅 == 12:30 12:40 13:00 13:30 15:45 16:05(温泉 夕食)18:50 21:00 8/7(火) 横浜駅 ===== 本厚木駅 6:10 7:05		
歩行/行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間
ガイトブック	4:20/5:35		
計画時	4:25/5:25	0:45/2:00	5:10/7:25
実行時	4:45/6:55	1:20/2:10	6:05/9:05
コースの概要 特記事項 反省事項・等	▲8月5日(日)晴 夜行バスが金沢駅へ着くとすぐに北鉄駅前センターで「白山クーポン」を購入、別当出合の往復切符と室堂小屋の宿泊券がセットになっていて、正規より1100円も割引になる。 バスの乗継ぎ時間が少ないためトイレへ行く時間もなく、別当出合まで我慢、我慢、途中休憩をして、9時35分に別当出合に到着、晴れて気温も高く、寝不足と暑さで歩く前からバテそう。 石の鳥居を通り右の吊り橋を渡り、砂防新道への登りに入る。汗をびっしょりかいて中飯場で休憩、ここの冷たい水はありがたい、もう歩くのやめてここに居たいと冗談を言う人もいるくらい暑い 甚之助避難小屋で昼食の予定だがお腹がすいてそこまで持たない、飯場跡のベンチで昼食にしたが、何とそこから5分で甚之助小屋であった。 甚之助避難小屋はわりと綺麗な小屋で、周りにはベンチが沢山有り、冷たい水もあって休むにはとても良いところである。そしてTTCの女性がトイレを拝借、トイレの中にポシェットの忘れ物「どなたか忘れた方ありませんか」と何回も大きな声を上げるが、みんな知らんぷり、連絡してあげようと中身を確認、中に室堂の宿泊券が2枚と携帯電話、今晚室堂に泊まることが判ったのでSLがザックの上に結びつけて出発。10分も歩かない内に、空身で血相を変えて下ってくる男性忘れ物した人だとすぐに分かる顔つき、後ろから奥様らしき人もかけ下り来て、本人と判明。無事に渡せて一安心だが、お礼の言葉もそこそこに中身を確認していたので変な感じだった。 南竜分岐の広場に着くと、先ほどのご夫婦が居て、我々が到着すると右方向のエコーライン方面へ歩いて行った。ほとんどの登山客は右の方へ行くようだ。エコーラインは急な坂が無く、花も多いので最近人気があるようだが、帰りに雨だったらそこを下ろうと思っていたコースである。 我々はここから急坂を登って黒ボコ岩を目指す、この斜面も花が多く、急な登りも花に慰められながら歩くので疲れを忘れさせてくれる。 十二曲の手前には延命水が湧き出ている、汗ばんだ身体に冷たい水がしみわたる、本当に命が伸びる感じであった。「この水を飲むと死ぬまで生きるらしいよ」と誰かさん。 黒ボコ岩までもう少しの所で、Mさんが「ほら背中を見て」と振り返った、あれ、ザックがない。すると、その後ろから自分のザックの上にもう一つザックを載せたSさんがニコニコして上がってくる		

出会った花々
チングルマ
アオツガザクラ
クロユリ
ハクサンコザクラ
ハクサンフウロ
カライトウ
シノキンバエ
タヤマアサミ
効ネマツムシソウ
コイワカミ
イブキトラノオ
ミヤマシジウ
シモツケソウ
ミヤマダイモンジソウ
効ネナデシコ
ニッコウキスゲ
ハクサンシャジン
メタカラコウ
ヨツバシオガマ
アキノキリンソウ
ウマノアシガタ
ヤマハハコ
センジュガンビ
クルマユリ
コバイケソウ

総重量25kg位になると思うのに、大丈夫かなと心配になった。それにつけても20年近く一緒に山へ行っていたが、Mさんが人にザックを持ってもらうのを見たのは初めて。Sさんありがとう。黒ボコ岩で休憩にしたが、Sさんはザックを降ろすのが大変なのか、私先にゆっくり歩いていきますと休まずに登っていった。黒ボコ岩を乗っ越すとそこは弥陀ヶ原、木道の登山道はゆるやかに続き、ここまで来るとほっとする。頂上もよく見えるが、室堂小屋は見えない、エコーラインを合流し、低い這松帯の五葉坂を登るが、これが意外ときつい。やっと登り着くとSさんが待っていて、室堂小屋が横に見えていた。受付で宿泊の手続きをするのだが、宿泊クーポンが2枚足りない、何回数えても10枚しかない私無くした覚えはないとろたえる会計のYさん、すると男性二人がまだ渡してないよとのことで一件落着、別当出合いで集めたとき、準備体操が始まったので集めそなたらしい。「それでは部屋へ案内します」と係りの若者と一旦外へ出ると、石の鳥居の向こうに奥宮がある「あそこですか」と聞くYさんに、「あそこは神社です」と一同大笑い。三棟ある真ん中の宿泊棟の1号室に案内され、「この山で百名山完登になるのよ」とYさんが言う。「パワーを頂きたいので握手してください」と手を差し伸べるので少し恥じらいながらも手をにぎった。夕食までまだ時間があるので奥宮前のベンチで乾杯。今日のためにUさんが薩摩焼酎とYさんが用意してくれた白ワインを頂く。(ただし運びあげたのは別な人、笑いませんよ)みんなのあたたかい真心に感謝、感謝。生ビールとともに美味しく頂き少し酔って気持ちがよい。明日の天気は判らないので、今、頂上が見えるうちに写真を撮ろうということで、Kさんがこの日のために最高の横断幕を作って頂いたので、それを広げて記念撮影。すると横断幕を見た他の登山者から拍手が響く、恥ずかしいやら照れるやら、その中の中年のグループから「百名山の最後に白山を選んだのはなぜですか」との質問に「花がたくさんあるから」と答えると大喜び、聞くと地元の人たちで、「白山を最後に選んでくれてありがとう」と言う、すかさず「お金がないから」なんて言うてしまった。夕食はあまり期待しない方がいいよと言われていたが、何のなんの、おかずもいろいろあって満足いく夕食であった。夕方外はものすごい勢いで雨がふった、明日はどうだろうと心配。

▲8月6日(月)晴のち曇り一時雷雨

朝3時過ぎには全員起床、昨夜のうちに貰っていた朝食を少し食べ、鳥居をくぐって御前峰へ出発、まだ暗いのでヘッドランプを点け3時55分歩き出す。道はよく整備されていて、途中追い越した宮司さんは下駄で登っていった。15分ほど歩くと下から太鼓の音が響いてきた。これは朝日が拝める可能性があるときだけ鳴らす太鼓の音と聞いている。期待がもてそうと少し元気が出るのだが、寝起き間近な身体にはきつく感じる登りである。

頂上へ着くと、先ほどの宮司さん、下駄を履いたまま岩の上に立って「お日の出はあそこから登るはずで、その方向にアルプス連峰や乗鞍岳、御嶽山が見えるはず」すべて今日ははずで終わりそうである。白山では御来光のことを「お日の出」と称するらしい、今日は雲があつてお日の出は見られそうもない。

頂上で例の横断幕を広げて記念撮影、人が多く、順番待ちの状態であったが、それぞれ想い出の写真を撮ってもらい、池めぐりコースに出発。岩のゴツゴツした道を下って最初の池である油ヶ池の辺で朝食にした。昨夜もらったお弁当の残りをここで食べる。

このお池めぐりコースには残雪があり、景色を一層引き立たせていた。血の池を過ぎ、千蛇ヶ池の所でトイレへ行きたいと言う人が何人かいて、近道を通って室堂へ帰ることにした。

室堂小屋の近くまで来ると、黒百合やハクサンコザクラが群生していた。荷を運ぶヘリコプターが小屋の上空でホバリングしているのをしばしば見物、ここでトイレを我慢してた人が先に行った。

小屋の中を通り抜け、昨日登ってきた五葉坂を下って弥陀ヶ原の木道をルンルン気分を下って黒ボコ岩で小休止、さあここから観光新道を下る、もし雨だったら弥陀ヶ原からエコーラインへ下る予定であったが、今日は今のところ晴れているので計画表通りのコースをたどることになる

黒ボコ岩から右の観光新道へ入り、やがて道は尾根上に出る、ここから花の楽園となる。白山は花の山と言われるように250種もの高山植物があるらしい、斜面一面に花が咲いていて、これを百花繚乱と称するのもかもしれない。花を見物しながら、またカメラに収めながらゆっくりと下る。ハクサンフウロやハクサンコザクラなどハクサンと名のつく花が多いが18種類もあるらしい、またゴゼンタチバナはこの山にもあるが、これも白山の御前峰(ごぜんがみね)から名付けられたと何か書いてあった。ちょうど時期も良かったのか、これだけの花を見せられるとここを百山目にしたことは正解であったと思われる。これから百名山を目指す人は白山を最終目的にすると良いが、SLのSTさんには最後は筑波山にしてと要望しておいた、私たちはケーブルで先に上がって頂上で待っているから、下から登ってきたら頂上でお祝いしましょう、と言ってある。

今回出会った花々は左欄に記入しておいたが、まだ他にもいっぱいあると思われる。Mさんが写真で花のアルバムを作成して頂いたのでそれらも参考にしてもらいたい。

真下に殿ヶ池避難小屋が見えてきた、あそこで休憩しようとするが途中からその小屋も見えなくなってしまう、なかなかたどり着かない、やっと小屋にたどり着き休憩、お腹もすいていたのでザックにあるものを腹に収める、もうここまで来ると花も少なく、尾根の横を歩くようになる。

石の門みたいな仙人窟をこぐって行くと快適な稜線歩きとなる、左には笹が生い茂る道となり

退屈な道となる、ひたすら下るのみである。後ろで「あっ」という声がして振り返ると笹がガサガサと揺れていた。何が起きたのかとさには分からなかったが、Sさんが「動かないで」と大きな声をだしていた、誰かが落ちたのはわかったがまだ誰だか分からなかった。スリングを何本かつないで、Sさんがするすると降りて行きMさんを救助した。その間ほんの数分、Sさんの「動かないで」と云うのは、動くとかえって滑り落ちる場合があるからと後から聞いた。さすがだと感心する。

今回、Sさんの機敏な対応に感謝、感謝、本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。私は細引きもスリングも持って行かなかった、もしSさんが行かなかったらどうやって降りるか迷うことだろう。これを教訓として山行には細引きかスリングの長いものは必ず持って行こうと思いつつ、さっそく一番長いスリングをワイルドワンへ行って買って来た。それと6mmのビレーザイルを持って行くことにしようと思う。

二つの大きな岩がある通称大岩と言われる場所で休憩、Mさんの背中とか手とかに薬を塗り手当をする我が女性陣はなんと優しいこと、私は暗くなりがちみなさんの気持ちを、冗談で笑わせることしかできない。多分私が怪我をしたとしてもみんな知らんぷりするだろうな。

休憩中に雨が降ってきた、おまけに遠くで雷の音もしてきた、カッパの上着だけ着て出発するやがて、別当分岐で左へ急坂を下る、ここには大勢の登山客が休んでいた、この急坂を登ってきたら休みたくなるだろう。ぐんぐん高度を下げ、森林地帯に入って雨も小降りになり、カッパを脱ぐ、やはりカッパは暑い、途中2回の休憩をとり、別当出合へ着いたのは13時丁度、とても計画表にある11時30分のバスは乗れない、私は急がないよう午後1時30分のあとの3時30分でもいいと思ひみなさんに囀ると、1時30分で行こうとの意見が圧倒的に多く、それに間に合うように歩いた。

別当出合に着くともうバスの方へ並んだ方がいいと言われ、何人かはもうバス停に並んでいるようであった。アイスクリーム150円の看板、だが売り切れてもうなし、残念。

バスが走り出して30分くらい走ったところで風雨が強くなって来た、山の中ではなくて良かったと安堵する。

金沢駅には雨の痕跡も無く晴れていてとても暑い、アパホテルは駅の反対側、西口にある。中央通路を歩き、アパホテルの2階でタオルと着替えの甚平を受け取り、早速お風呂へ、お風呂は思ったより大きくゆったりしていた。身体の汗を流してさっぱりしたところで、「ああ早くビールが飲みたい」、男性陣はレストラン「彩旬」の前で女性陣の来るのをひたすら待っていた。

早くこいこい女性陣、いや生ビール。やっと席について、生ビールをピッチャーでもらう、ジョッキで5杯分入っているが、すぐ空に、おかわりをもらう、結局ピッチャーで4杯、ジョッキだと20杯分がお腹のなかえ入ったことになる。

夕食もかなり豪華でお風呂込で3,000円はお得である。ゆっくり食事をして、お土産屋さんを聞き7時少し前にここで聞いたお店、百番街へ入ると、あと5分で閉店ですとのこと、みんな慌てて買い物をしていた。

午後9時横浜行のバスで帰宅、アクシデントはあったものの、今後の教訓をいっぱいもらった山行でもあったし、私自身学ぶことの多い山行であった。皆さんに感謝とお礼を申し上げます。

なお、私事ではありますが、私と家内がこの山行で百名山達成となり、同行して頂いたTTCメンバーには、山の上で、また、レストランでの祝杯をあげて頂き本当にありがたく、涙だか汗だか止まりません、ありがとうございました。

72歳を過ぎて百名山達成なんて、とても恥ずかしい感じです、しかし、この歳で達成できたのは、TTCの仲間の温かい応援と、友情があつてのことと思います。計画を立て、実行してくれた皆様にどれだけ感謝しても足りません、手を取って引っ張り上げてくれたみなさまに新たに御礼申し上げます。TTCの仲間のみなさん、ありがとうございました。